

助成事業 “みなさまの声”

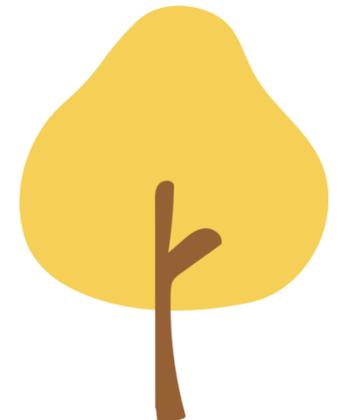
防災用井戸工事

2019年に大型台風で被害に遭い、停電、飲料水やトイレ水の心配を経験しました。防災井戸の設置を検討していたところ、助成いただき、井戸が完成しました。防災計画全体を見直しになりました。

普段は、子どもたちと、園庭の花畑の水まきに利用しています。完成後、偶然、春休み中に幼稚園の水道が約1週間、断水しました。防災井戸で飲料水を確保でき、助かりました。



聖母マリア幼稚園
理事長 羽場 勝子



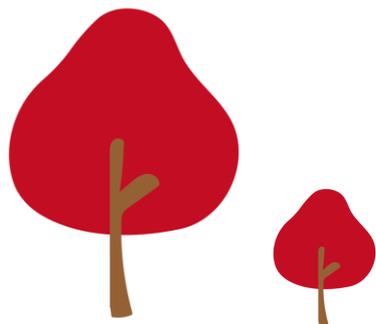


ロッカー可動棚、お道具整理棚ケース

2019年4月に開園したばかりで、園児数に対して整理棚が不足しており、補充の必要性を感じていたものの充実させる余裕がなく、玩具類や文房具をクローゼットの空きスペースに分けて収納していました。

助成により、お道具整理棚ケースやロッカーを設置できました。園児は自発的に整理整頓を行い、保育士の業務軽減にも大きな効果がありました。長く大切に使用させていただきます。

- ・必要な物をすぐ取り出せて、業務負担の軽減になった(職員)
- ・使用後の文房具や玩具を自発的に片付ける様子が見られ、整理整頓を行えるようになった。普段の家庭での生活でも同様な効果が期待できると思う(職員)



くまの子倶楽部三室保育園本館
事務長 大熊 麻紗子

折りたたみプール

長年使用していたプールが劣化し、安全面から買い替えを検討していましたが、予算が厳しい状況にありました。助成いただき、大変感謝しております。新型コロナウイルス感染症対策への町の方針に従って、今年度は本来の使い方ができませんでしたが、水を張り、年長児が一所懸命作ったカラフルな魚を浮かべて、園児全員で「お魚釣り」を楽しみました。来年度は本来の形で活用できることを心から願っております。

・両手に持ちきれないほど釣り上げる達人技を見せてくれる子、慎重にゆっくりと釣り上げる子など、釣り方にその子らしさがあり、微笑ましい光景でした(職員)



渡瀬保育園 園長 杉田 睦子

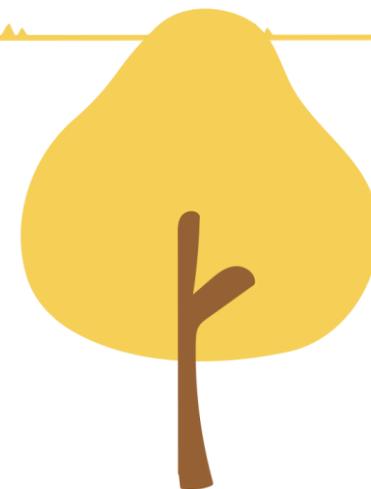
門扉交換工事

以前は、施錠できない仕様の門扉で、誰でも敷地内に入ることができる状況でした。門扉交換以降は、保育中および閉園後のセキュリティ強化を図れ、防犯に役立っています。開閉時の不具合もなくなり、指挟み防止機能が併設されていることから安全に使用できています。

園の防犯・安全対策に対する姿勢を示す良い機会となりました。

・より一層、安心して子どもをあずけられるようになりました(保護者)

明德浜野駅保育園 園長 海邊 成美



電動式オーニング設置工事

雨天時の「雨よけ」、猛暑日の「日よけ」として使用しています。電動で、女性教職員でも苦勞なくオーニングを出し入れできます。

以前は雨天の登園・お迎えの際、濡れてしまうことがありましたが、今は濡れることなく靴の着脱ができます。夏のあいだ、お迎えを待つ間も直射日光が遮られ、外廊下に並んでお話ができるようになりました。コロナが落ち着いたら、皆で並んでスイカやかき氷を楽しみたいと思っています。

江川幼稚園 理事長 石渡 宏之



便器設置工事



トイレ2台が和式のままで、トイレトレーニングの際に洋式トイレをめぐって渋滞がおこっていました。洋式にとりかえられ、トイレ渋滞が解消されました。子どもたちはトイレに行くことが楽しくなったようで、新しい便器に行列ができています。子どもたちの身近にある環境の大切さを実感いたしました。

・パンツトレーニングの時期に、子どもたちの気持ちがトイレに向いてくれた(職員)

たま保育園 園長 中山 雅子

スチームコンベクションオーブン

2020年度から全園児を対象とした給食の提供に取り組んでいます。複合的な調理作業を短時間にこなせるスチームコンベクションオーブンの導入で、多種多彩な献立を提供できるようになりました。延長保育では添加物の入っていない手作りのおやつが喜ばれています。園児の笑顔をたくさん見ることができています。

- ・給食でさまざまな食事を摂ることになり、食の経験が増えました。はじめは慣れないのか残食が目立ちましたが、現在では残食も少なくなり、園児の偏食是正につながりました(職員)
- ・栄養バランスの摂れた食事は、自分自身にとってうれしい(職員)
- ・給食により、朝の忙しい時間が軽減され、ありがたい(保護者)

認定こども園いそはら幼稚園
園長 大平 育子



防災倉庫

風水害に加え、大地震が予想される地域ながら、防災倉庫がない状態での園生活に不安を抱えていました。

設置後は「防災倉庫」であることを示すパネルを掲示するとともに、毎月の防災訓練時、子どもたちに防災倉庫の位置や役割を説明しています。保護者にも防災倉庫について周知。いざという時に活用できるよう適切に管理していきます。

・災害対策はどこまでやってもやりすぎることではないので、防災倉庫の設置は「より安全に」という視点からとてもありがたく感じています(保護者)



幼保連携型認定こども園 みなみこども園
園長 田辺 奈保美

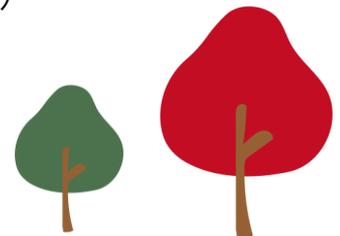
園バス車両

新しいバスが園に停まっているのを見て、子どもたちは興味津々、動き出すのを待っていました。子どもたちと話し合い、「宇宙号」と名付けました。現在は登降園の送迎のみですが、コロナが落ち着いたら、宇宙号に乗って、園外保育に出かけたいと考えています。

・故障の心配が減り、安心して子どもたちの送迎に集中できています(職員)

・デザインがかっこいい(園児)

みどりが丘幼稚園
園長 宮本 裕次



加湿空気清浄機

各保育室と遊戯室に設置、開園日はフル稼働させています。3月卒園児を含め、インフルエンザの罹患数は10名のみでした。新型コロナウイルスの流行もあるなか、感染症の予防に効果を発揮していると感じています。

・どの部屋にも空気清浄機があり、安心です(保護者)

館第一すぎのこ保育園 園長 富樫 美佐子



乳児用すべり台



乳児用の遊具が何もなかった園庭に、可愛らしいザウルス型のすべり台がやってきて、ぱっと華やかに明るくなりました。子どもたちは連日、楽しく利用しています。

- ・0～1歳の子どもたちが「ガオー」と指さして喜んでいきます(職員)
- ・下部のトンネル状になっている所をのぞきこんだり、ボールやコンビカーをくぐらせたりして遊んでいます(職員)

足久保こども園(旧:足久保保育園)
園長 長澤 真理

砂場遊具



長年の使用で老朽化がみられ、安全のために多くの遊具を撤去していた園庭に、新しくカウンターハウス型の遊具を設置したことで、砂遊びの大好きな子どもたちは、ごっこ遊びをして盛り上がっています。

・家で新しい遊具の話をしていました。遊具が増えてうれしいです！（保護者）

若泉幼稚園 園長 稲山 鶴代

平均台

遊戯室に平均台を並べて活用しています。園児には、転びやすい、走ることは得意でも歩くことは苦手、まっすぐ歩く感覚がつかめないなどの姿が見られ、何か歩行感覚を養えるものはないかと探していました。園児たちは大喜びで何度も何度も渡っています。

・家庭ではなかなかできない遊びで、子どもに好評です（保護者）

・幼児クラスの子どもたちは平均台を渡る感覚の虜になっています（職員）



のしお一丁目保育園 園長 山岸 洋美